

14. 同和地区出身者とのつき合いや結婚について

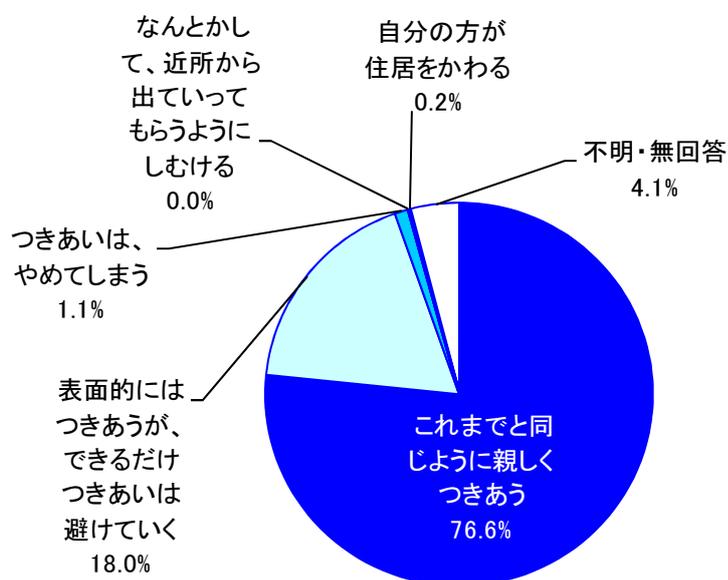
問 29 で「1. 知っている」と回答した人への設問

【問 34】 仮に、日ごろ親しくつきあっている隣近所の人が、なにかのことで同和地区の人であることがわかった場合、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

■全体

身近な人が同和地区の人であるとわかった場合の対応は、「これまでと同じように親しくつきあう」が 76.6%と最も高く、次いで「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」が 18.0%となっています。

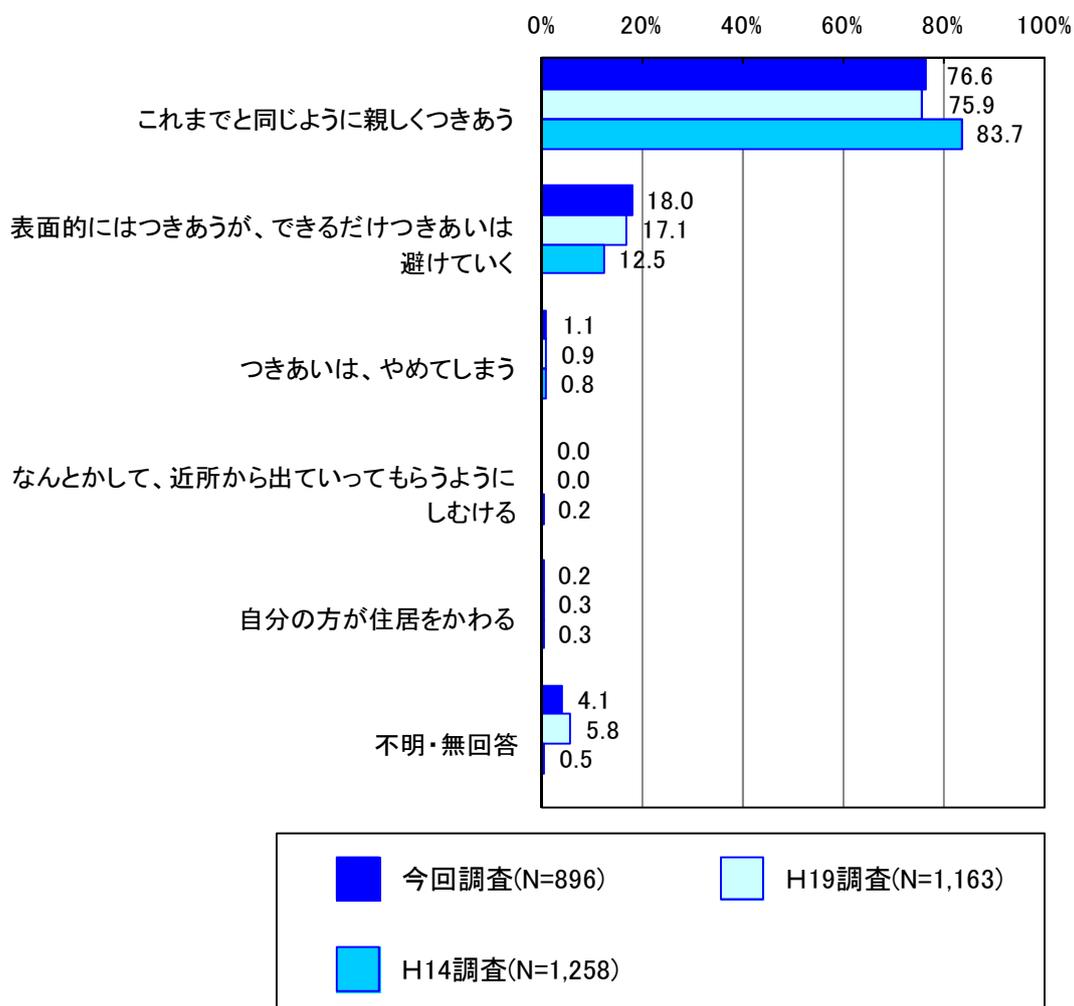
<単数回答>



全体(N=896)

■経年比較

H19 調査と比較すると、「これまでと同じように親しくつきあう」が 0.7 ポイント、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」が 0.9 ポイント高くなっています。

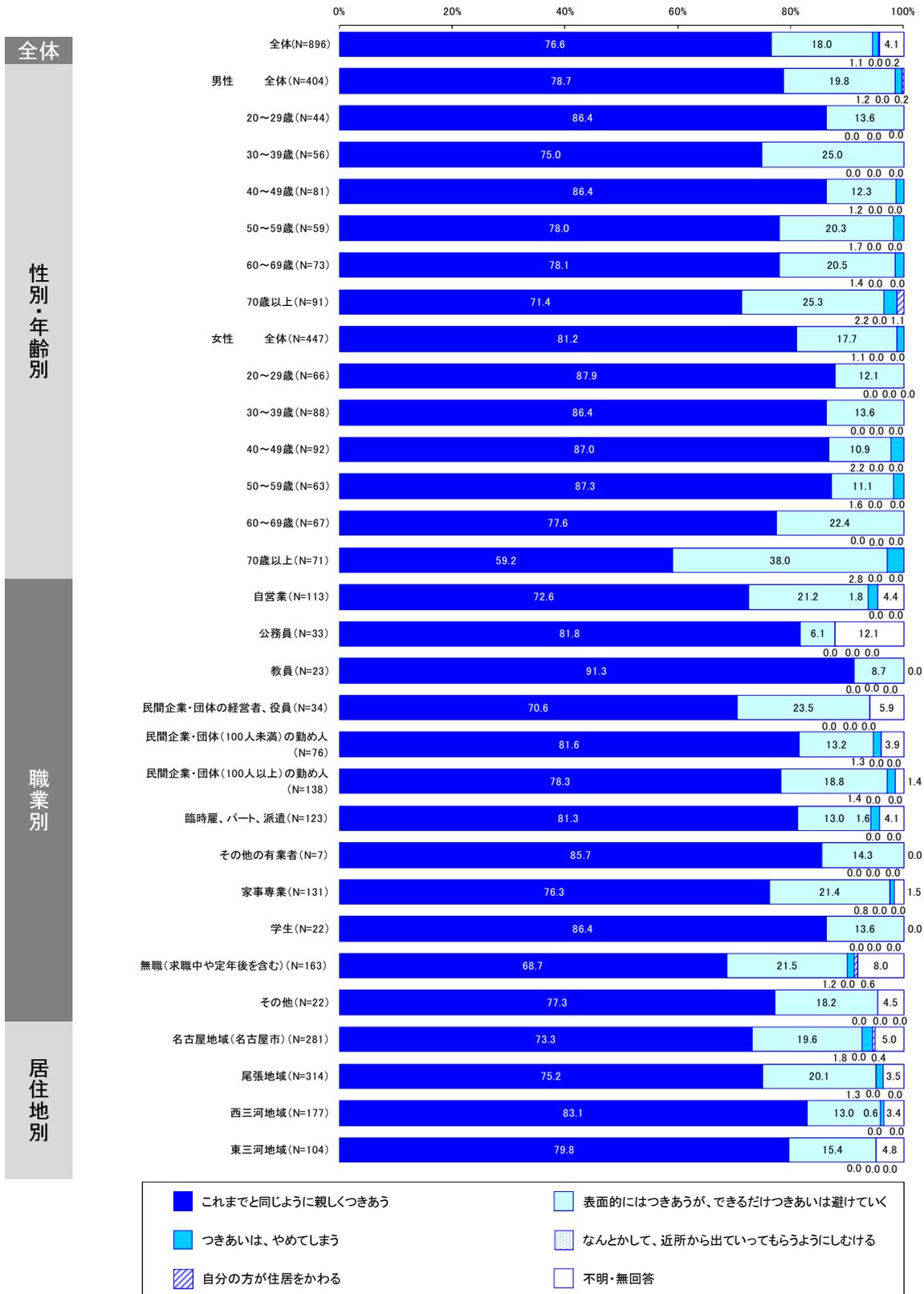


■基本属性別

身近な人が同和地区の人であるとわかたら「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」と回答した人について、男女ともに「70歳以上」で高く、女性は38.0%となっています。

職業別では、「民間企業・団体の経営者、役員」が23.5%と高くなっています。

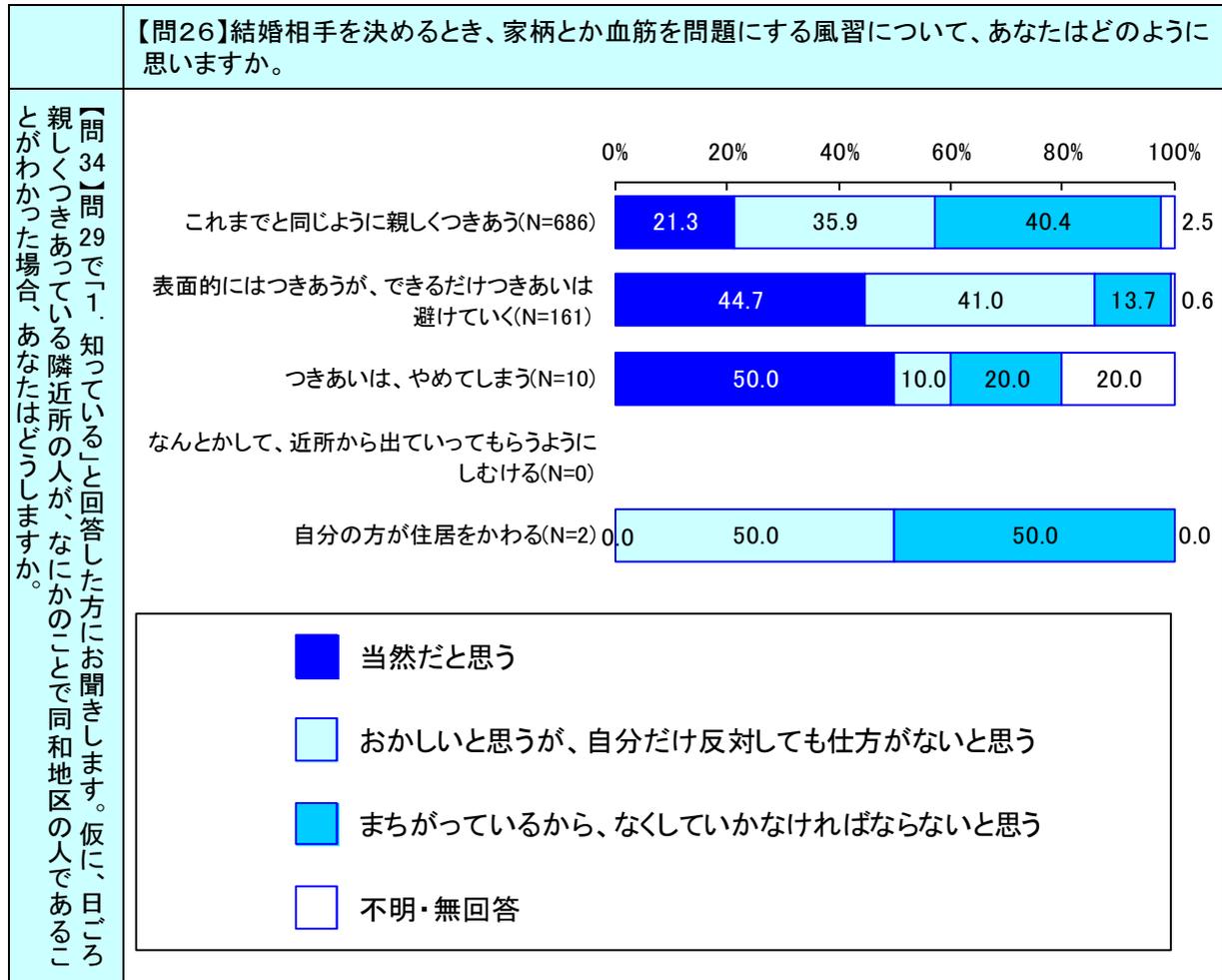
地域別では、「名古屋地域(名古屋市)」と「尾張地域」で2割前後と高くなっています。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者

■問 34 と問 26 の関連

身近な人が同和地区の人であるとわかったら「これまでと同じように親しくつきあう」と回答した人のうち、結婚相手の家柄や血筋を問題にする風習を「当然だと思う」と回答した割合は 21.3%となっています。

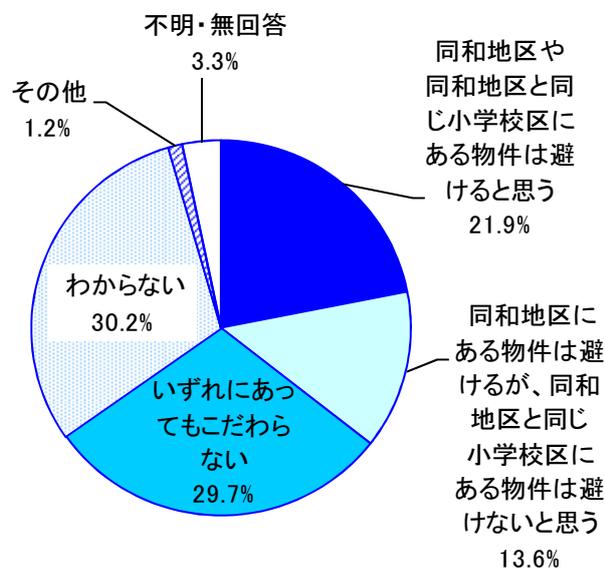


【問 35】あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件を避けることがあると思いますか。(○は1つ)

■全体

住む場所を選ぶ際に、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件を避けるかは、「いずれにあってもこだわらない」が 29.7%と最も高く、次いで、「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」が 21.9%、「同和地区にある物件は避けるが、同和地区と同じ小学校区にある物件は避けないと思う」が 13.6%となっています。一方、「わからない」も 30.2%と高くなっています。

<単数回答>



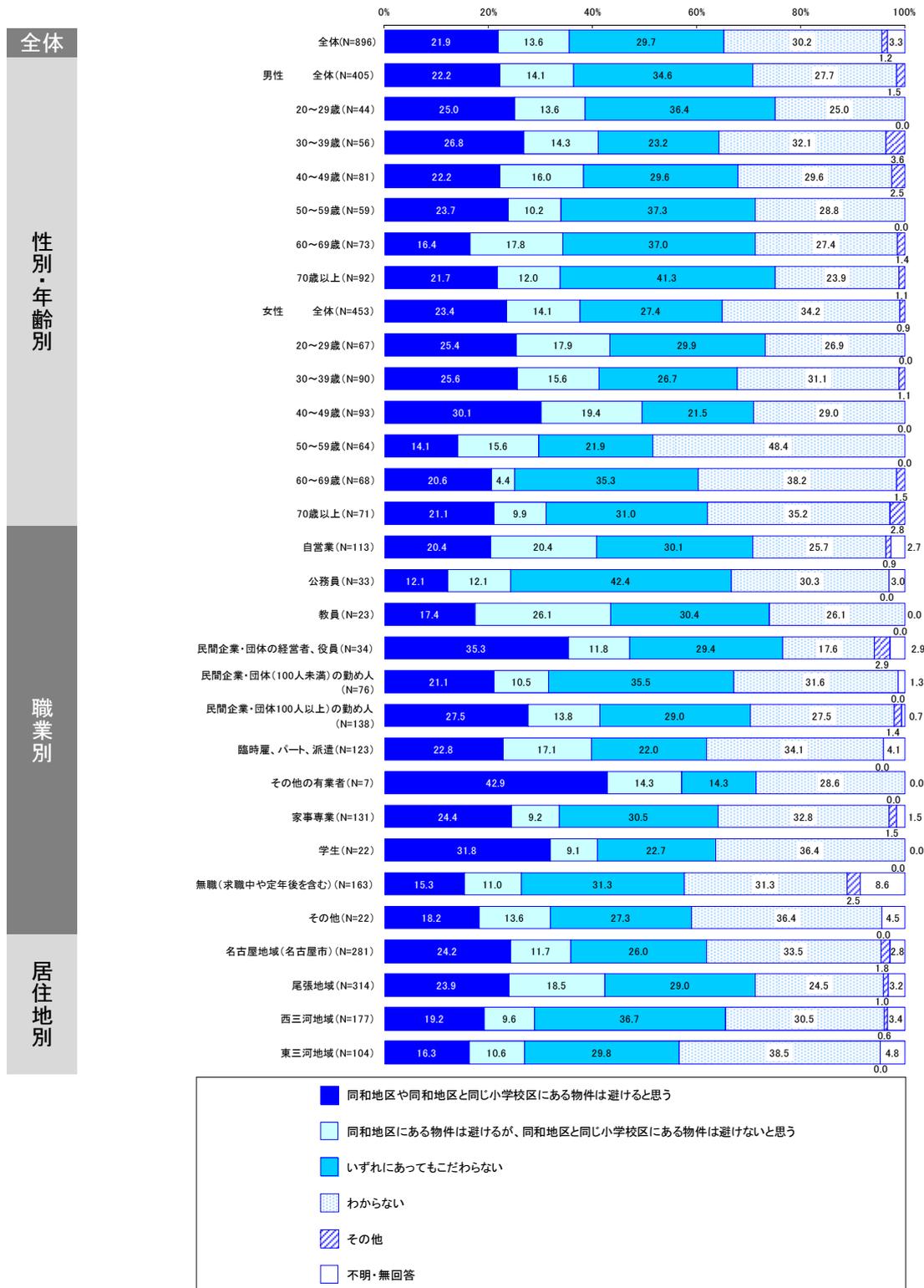
全体(N=896)

■基本属性別

住む場所を選ぶ時に「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」と回答した人について、男性は「30～39歳」で26.8%、女性は「40～49歳」で30.1%とそれぞれ高くなっています。

職業別では、「民間企業・団体の経営者、役員」が35.3%と高くなっています。

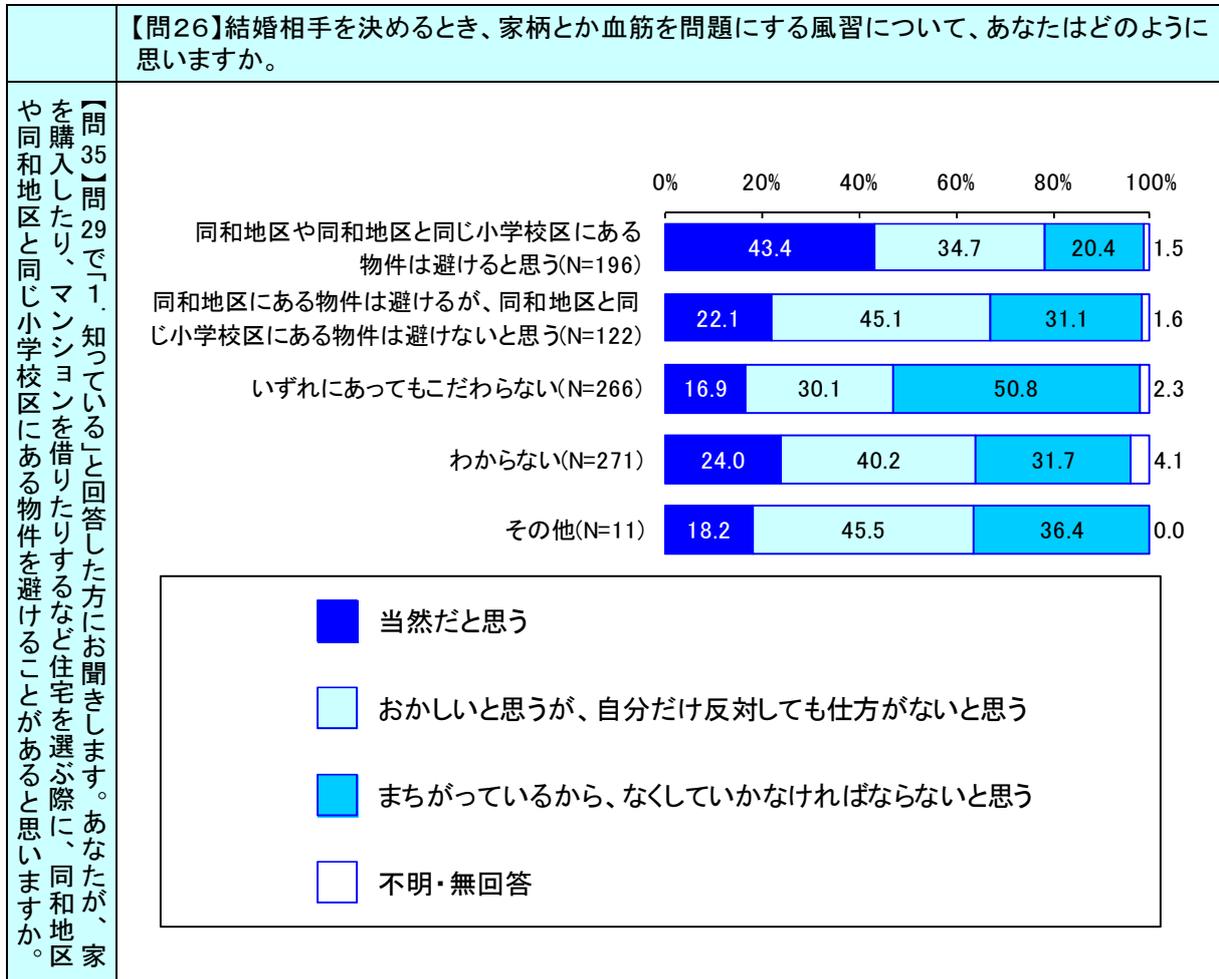
地域別では、「名古屋地域(名古屋市)」と「尾張地域」で2割強と高くなっています。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者

■問 35 と問 26 の関連

住む場所を選ぶ時に「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」と回答した人が、結婚相手の家柄や血筋を問題とする風習について「当然だと思う」と回答した割合は43.4%と高くなっています。

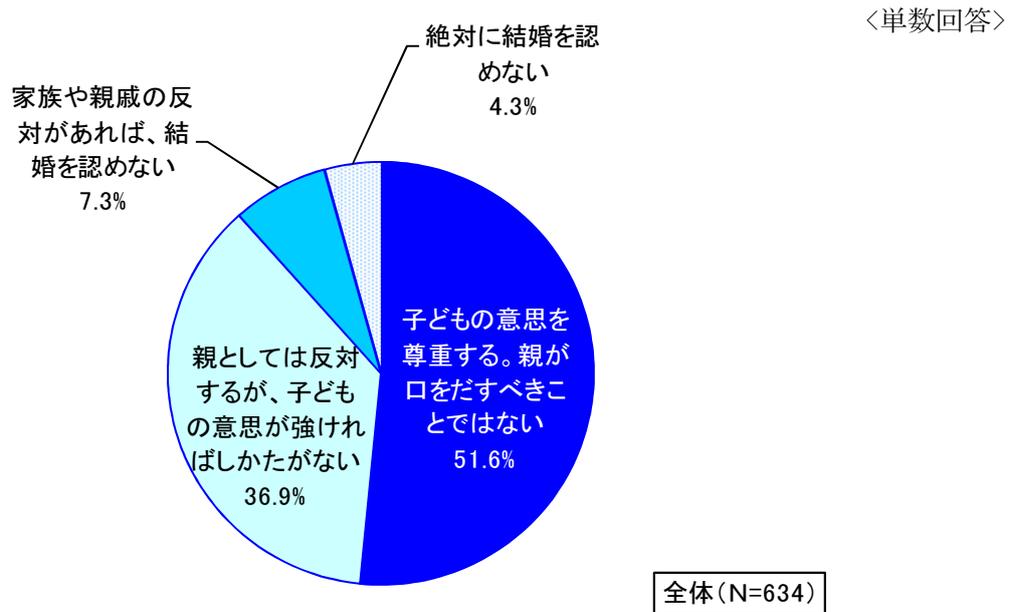


【問 36】あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

※「不明・無回答」の数を除いた母数で集計

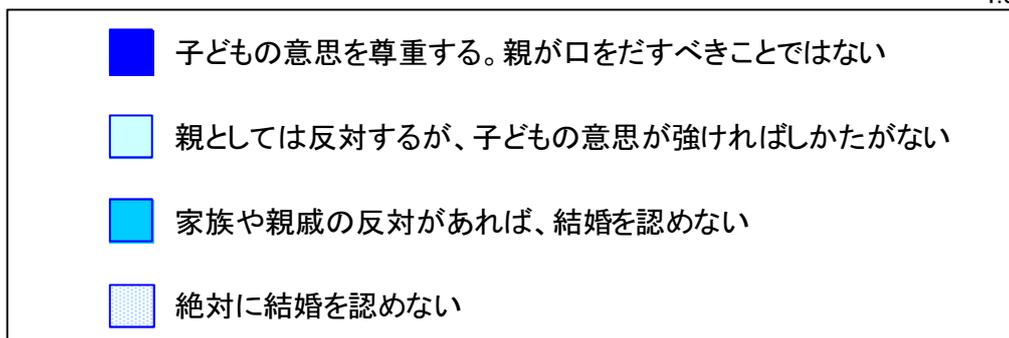
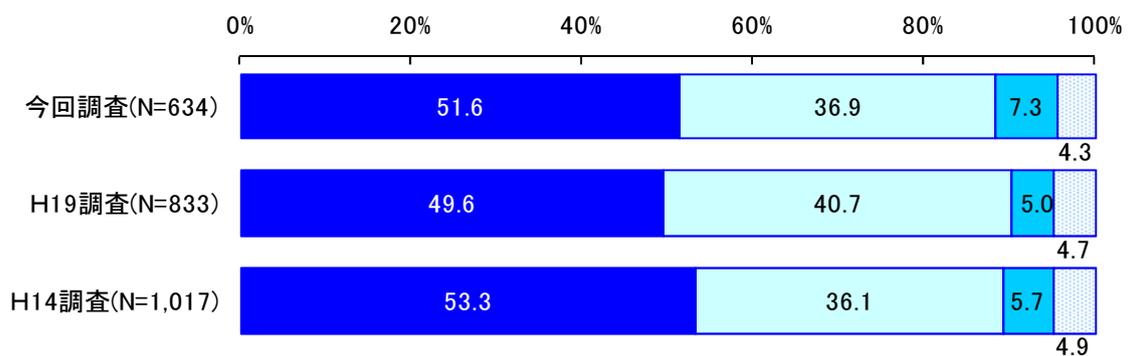
■全体

子どもの結婚相手が同和地区の人である場合の対応は、「子どもの意思を尊重する。親が口をだすべきことではない」が 51.6%と最も高く、次いで「親としては反対するが、子どもの意思が強ければしかたがない」が 36.9%となっています。



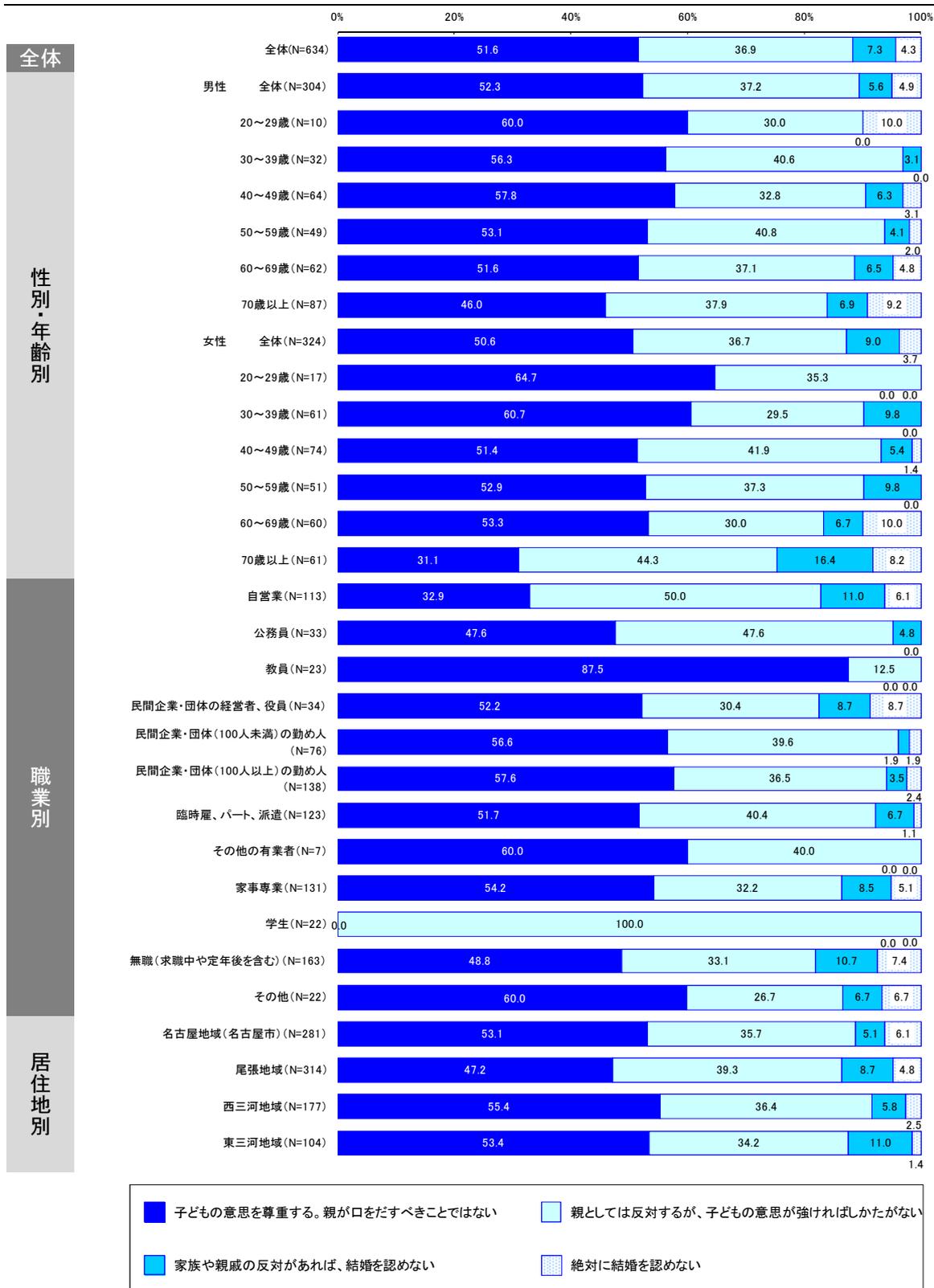
■経年比較

H19 調査と比較すると、「子どもの意思を尊重する。親が口をだすべきことではない」が 2.0 ポイント高く、「親としては反対するが、子どもの意思が強ければしかたがない」が 3.8 ポイント低くなっています。



■基本属性別

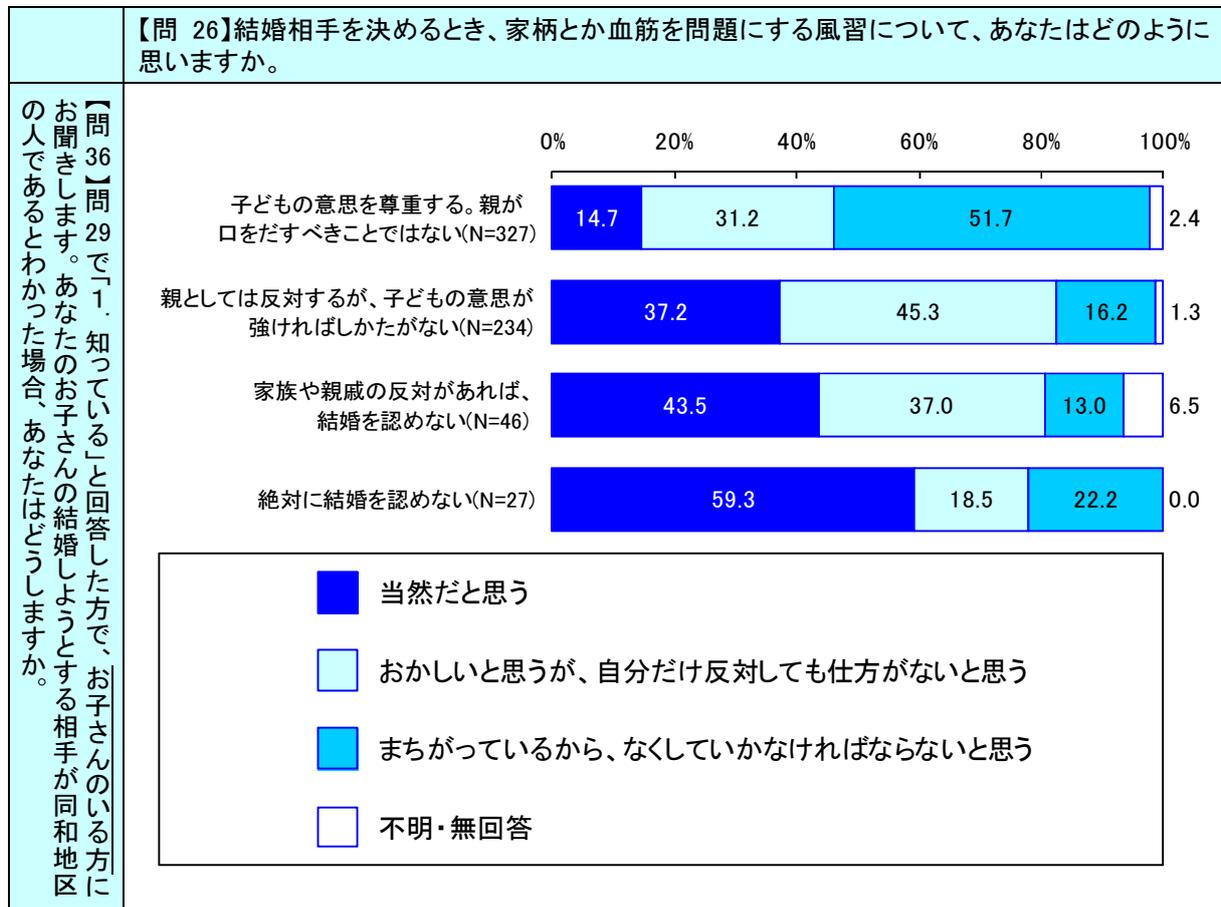
子どもの結婚相手が同和地区の人である場合「子どもの意思を尊重する。親が口をだすべきことではない」と回答した人について、男性は「20～29歳」で60.0%、女性は「20～29歳」で64.7%、「30～39歳」で60.7%とそれぞれ高くなっています。なお、女性の「70歳以上」で「家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない」が16.4%と高くなっています。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者

■問 36 と問 26 の関連

子どもの結婚相手が同和地区の人である場合に「絶対に結婚を認めない」と回答した人が、結婚相手の家柄や血筋を問題とする風習について「当然だと思う」と回答した割合は 59.3%と高くなっています。



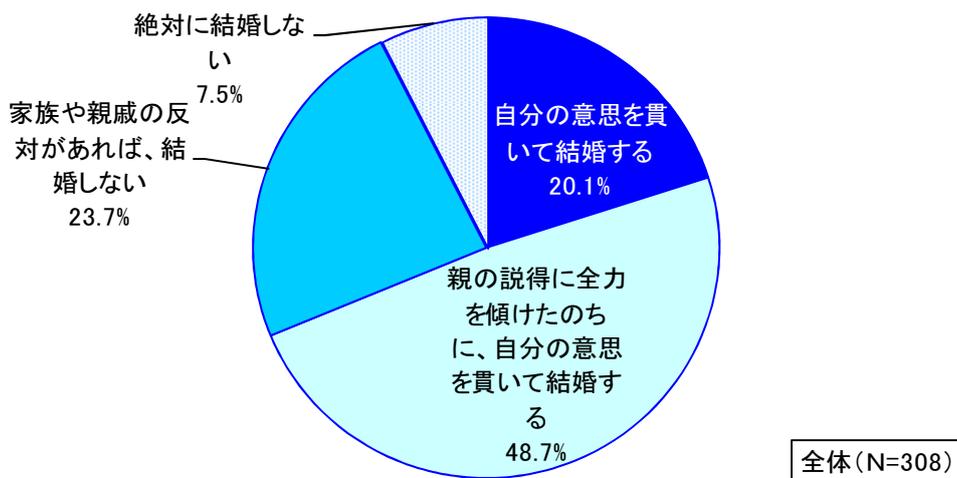
【問 37】あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとするとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)

※「不明・無回答」の数を除いた母数で集計

■全体

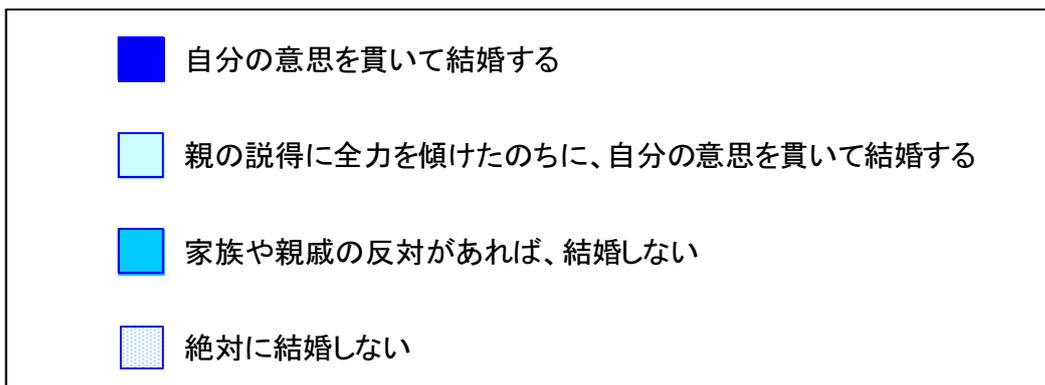
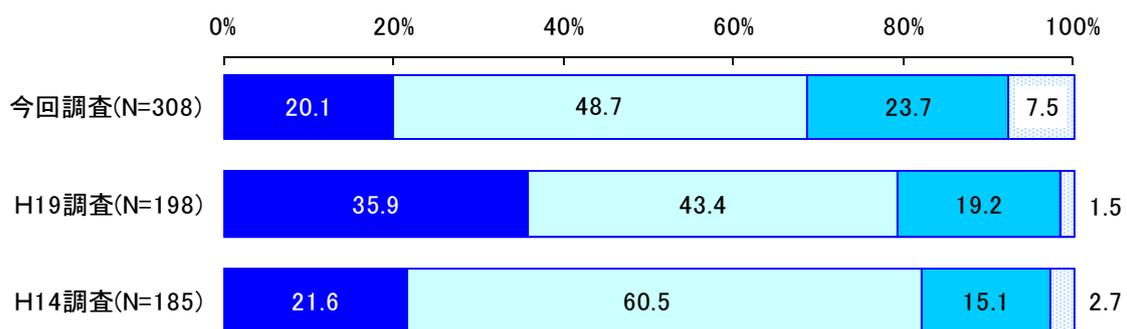
同和地区の人との結婚に際して親族から強く反対された場合の対応は、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」が 48.7%と最も高く、次いで、「家族や親戚の反対があれば、結婚しない」が 23.7%、「自分の意思を貫いて結婚する」が 20.1%となっています。

<単数回答>



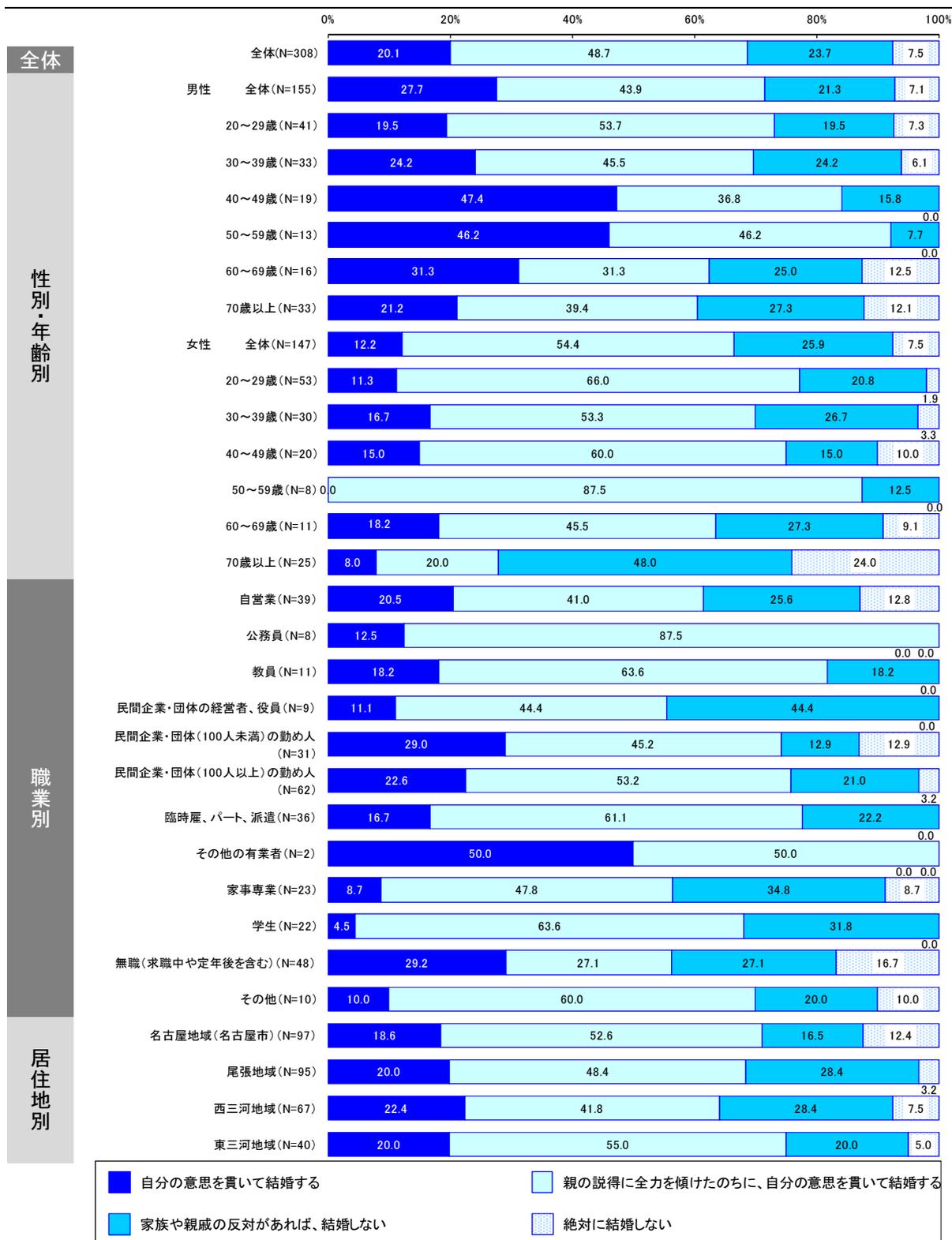
■経年比較

H19 調査を比較すると、「自分の意思を貫いて結婚する」が 15.8 ポイント低く、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」が 5.3 ポイント高くなっています。また、「絶対に結婚しない」も 4.5 ポイント高くなっています。



■基本属性別

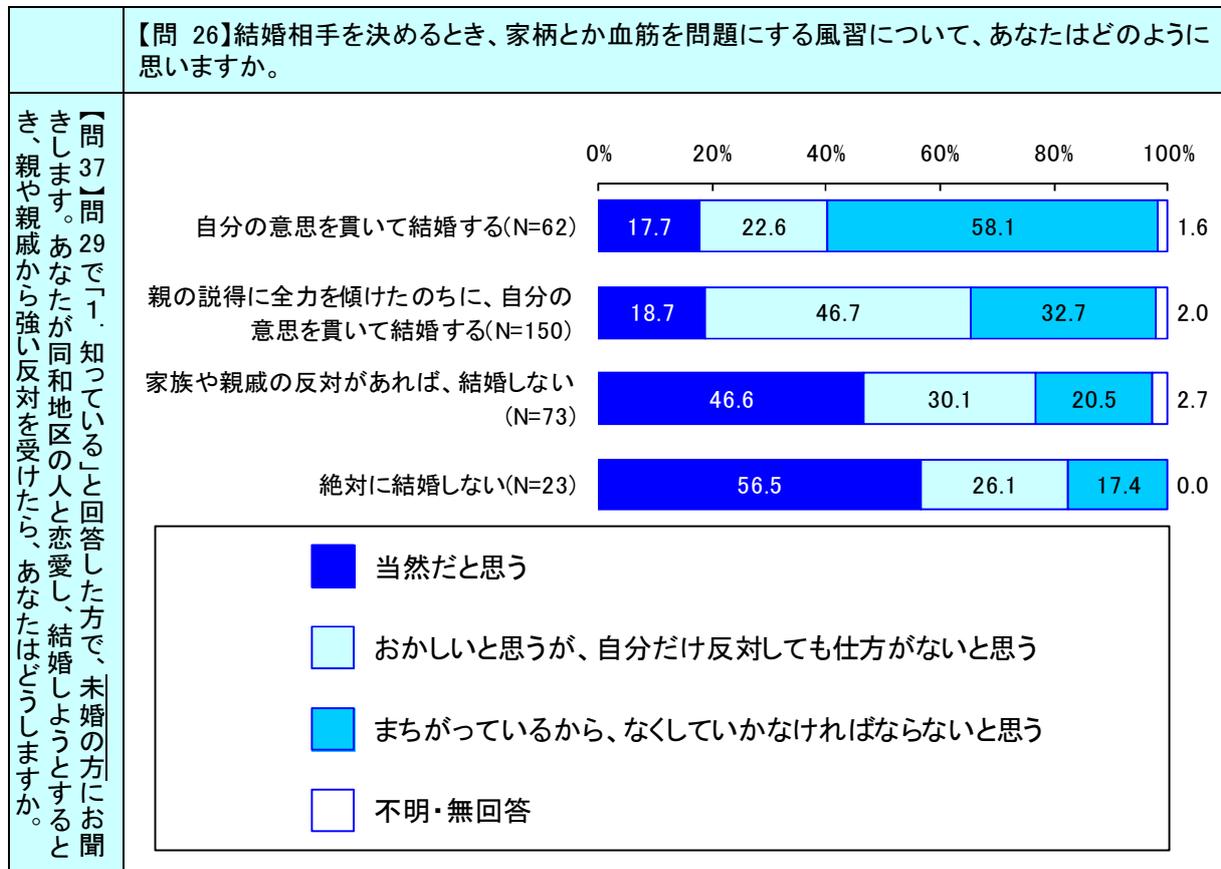
同和地区の人との結婚に際して親族から強く反対された場合「自分の意思を貫いて結婚する」と回答した人について、全ての年代で男性は女性よりも高く、「40～49歳」で47.4%、「50～59歳」で46.2%となっています。なお、女性は年齢に関係なく「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」が高くなっています。男女とも「30～39歳」で約3割の人が「家族や親戚の反対があれば、結婚しない」、「絶対に結婚しない」としています。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者

■問 37 と問 26 の関連

結婚相手が同和地区の人であるため結婚に反対された場合に「絶対に結婚しない」と回答した人が、結婚相手の家柄や血筋を問題とする風習について「当然だと思う」と回答した割合は 56.5%と高くなっています。



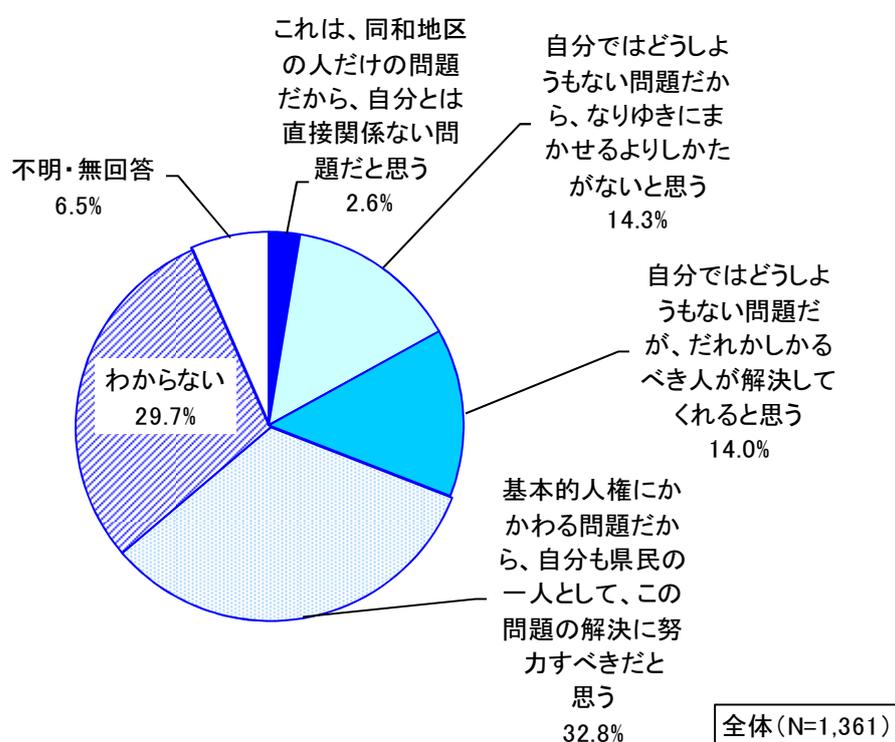
15. 同和問題解決のための対応について

【問 38】同和問題の解決に対するあなたの考えに最も近いのはどれですか。(〇は1つ)

■全体

同和問題の解決に対する考えは、「基本的人権にかかわる問題だから、自分も県民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が 32.8%と最も高く、次いで「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」が 14.3%、「自分ではどうしようもない問題だが、だれかしかるべき人が解決してくれると思う」が 14.0%となっています。一方、「わからない」も 29.7%と高くなっています。

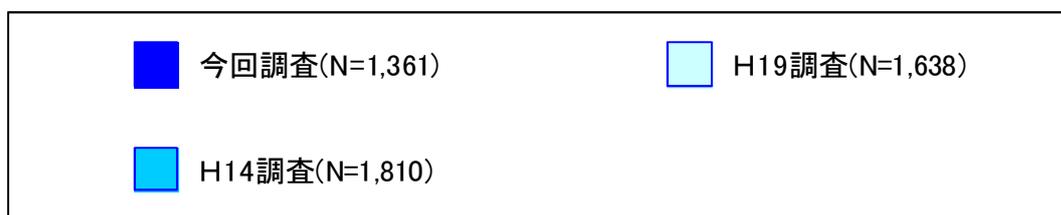
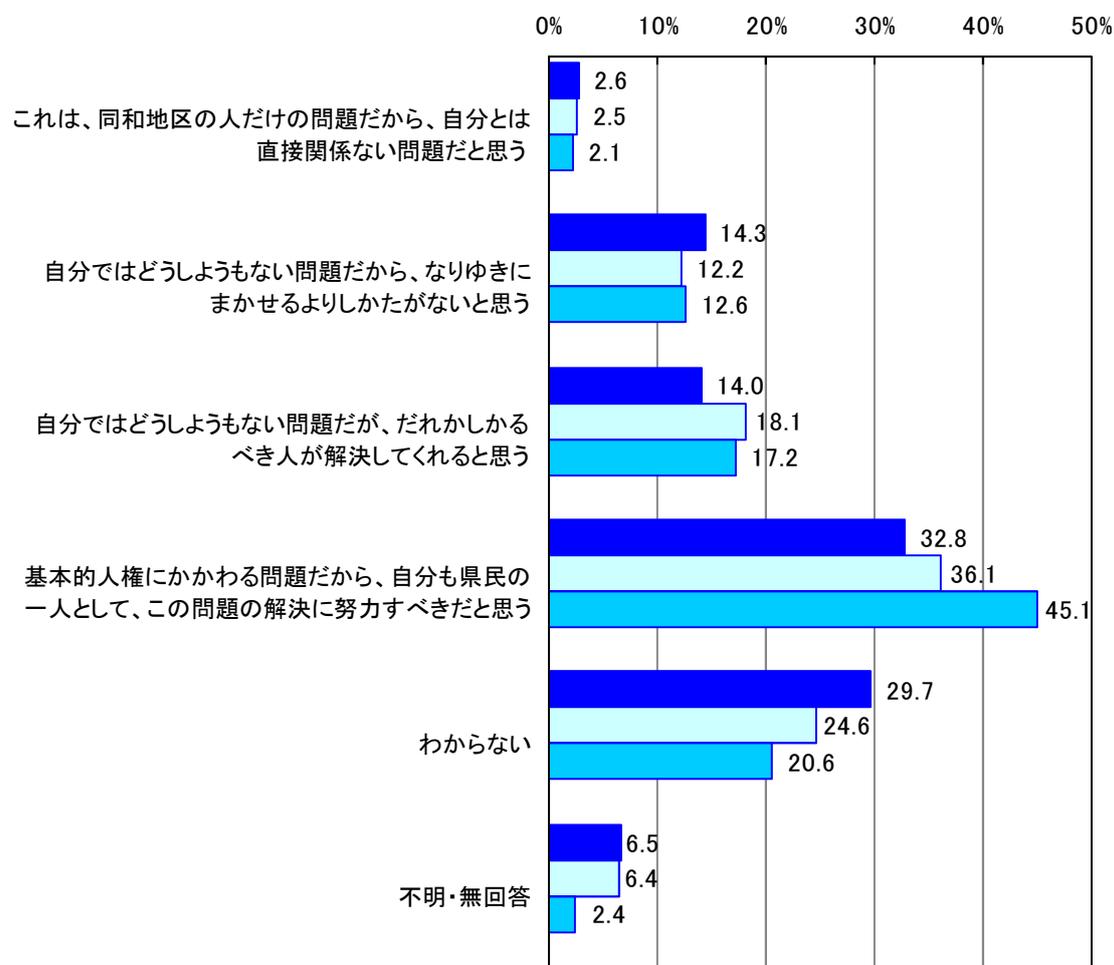
〈単数回答〉



■経年比較

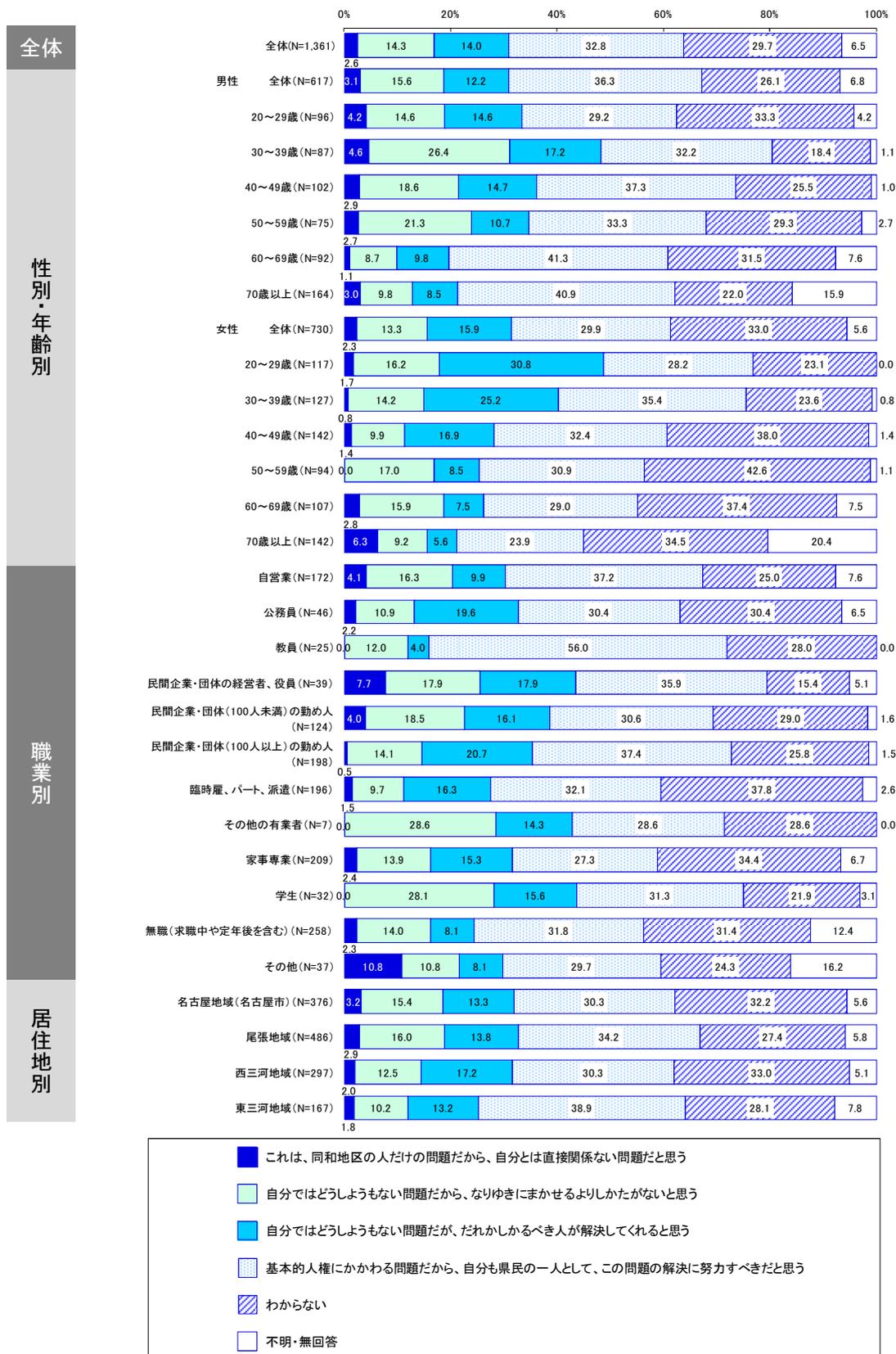
H19 調査と比較すると、「基本的人権にかかわる問題だから、自分も県民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が3.3ポイント低くなっています。

H14 調査から今回調査にかけて「基本的人権にかかわる問題だから、自分も県民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」は低くなっている一方、「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」が高くなっています。



■基本属性別

同和問題の解決に対し「基本的人権にかかわる問題だから、自分も県民の一人として、この問題に解決に努力すべきだと思う」と回答した人について、男性は3割弱～4割強、女性は3割前後となっています。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者

■問 38 と問 26 の関連

同和問題の解決に対し最も近い考えについて「これは、同和地区の人だけの問題だから、自分とは直接関係ない問題だと思う」と回答した人が、結婚相手の家柄や血筋を問題とする風習について「当然だと思う」と回答した割合は 55.6%と高くなっています。

